

交野 七夕伝説の地を歩く

(第97回くらわん会 2004/07/06)

おりしも七夕の前日7月6日、二年ぶりに想いを成し遂げた、くらわん会の彦星は満足であった。昨年雨のためコース変更を余儀なくされ機物神社の織姫に合えなかった彦星、想いは募るばかりで、昨年の予定コース通りでの再挑戦となった。

今年の梅雨は男性型、暑さ厳しく雨は少ない。松塚公園の木陰に集合したのは109名、七夕伝説の地：交野が原の詳しい説明がつけられたマップを受け取った会員たちは、早速資料に見入ってロマンを膨らませているようであった。

今日も晴れて元気な原会長の挨拶で朝会が始まる。今回の多数回参加表彰と初参加者の挨拶があった後、本日のリーダーである佐々山副会長からコース説明がある。町の生活道路を歩くのでぜひ片側通行、暑さに負けないよう水分補給、日傘使用上の注意などを求められる。朝会の最後に原会長より100回の記念行事及び記念誌について説明がある。記念行事への積極的な参加、記念誌で取り上げるベスト10コース投票への多数のご参画をお願いします。

元気よく歩き出した会員達だが、コース横の幼稚園や小学校のプールから元気な歓声が聞こえてくる。同じコースでも雨の昨年とはずいぶん雰囲気が違う。免除川沿いの道では突き出た木の根に注意しながら進む。道端のアジサイ、夾竹桃、アガパンサス、ムクゲなど夏の花や、家庭菜園のトマト、きゅうり、なす等も心を和ませてくれる。田んぼの稲の上を渡ってくる風はどことなく涼しい。昔からの民家が並ぶ私部の小道を進み、無量光寺の前を過ぎると、ほどなく代官屋敷(北田家)に到着する。中には入れないが、威厳のある門や長く続くしっかりした塀から往時を偲ぶ。

ここから住吉神社はすぐ近く、数分で到着し小休止となる。神社には茅の輪が作られており、左に右にくぐった後神社にお参りする。水分補給をし、一息入れて出発した一団に強烈な太陽が照り付けてくる。11時を過ぎ、暑さはいよいよ厳しくなってくる。何しろこの日の大阪の最高気温は35.7

コース説明とあわせて片側通行、暑さに負けないよう水分補給、日傘使用など、本日の注意事項が伝えられる



梅雨とは思えない猛暑が予想される中、元気に松塚公園を出発



府道18号出屋敷―寝屋川線(通称水道)の高架橋を進む



免除川沿いの葉桜のトンネルに行く





豪雨で暴れる川を付け替える時、土地を名付けられた税金を免除したことが

℃本年最高である。頭に首にタオルを掛け、黙々と歩みを進める。草むらから聞こえるキリギリスの鳴き声が夏本番を告げている。古の歴史を残すこの地、田んぼの中では遺跡の発掘が進められている。

やっと到着した機物神社、七夕前日とあって大きな竹が林立し、近くの幼稚園児たちがかわいい手で七夕飾りを取りつけている。ここでも茅の輪がしつらえられており、それをくぐってお参りをする。昨年来られなかっただけに、また今日が暑かっただけに、達成感、満足感も沸いてくる。倉治の祭神：機織神社、昔機織の技術を伝えた漢人・庄員を祭神としていると言われている。七夕を明日に控えて神社では布を織る機が2台飾られ、それを証明している。参詣道には数多くの露天が準備をしている。七夕当日はどんなに賑やかだろうか？



北田家住宅(代官屋敷)主屋、表門、乾蔵、北蔵の四棟が昭和五十四年に国の重要文化財に指定

ますます暑い、昼食前の力をふりしぼって倉治公園に向かう。みんなよく耐え頑張っている。公園に到着すると思いいいに木陰を求めて円陣を作り昼食となる。上着を取る人、上半身裸になる人も出てくる。しかし木陰で静かにしていると次第に汗が引いてくる。風が涼しい。やっと元気を回復したメンバーであるが、出発前の昼会、暑さを心配して佐々山副会長からコースの一部変更をしたいと連絡がある。旧庄屋屋敷・山添家には寄らず、少し短縮することに決定して歩き出す。



山根街道に東面する表門は、民家の長屋門としては日本最大のもの(重文)

道の両側は一面のぶどう畑、棚のよく手入れされた蔓、葉その下で大事に袋を被せられたぶどうがぶら下がっている。早生のデラウェアだろうか？おいしそうに色づいているものもある。店を開け始めたばかりと思われる直売所で早速買い求める人も多く人気のスポットであった。



住吉神社の夏越しの祓古歌を唱えつつ、左まわり・右まわり・中央へと、八の字を書くように三度くぐり抜ける

降れば困るし、晴れると暑い。交野が原の暑さに負けずによく頑張り、昨年果たせなかった七夕の夢を実現できた一日であった。

杉浦義次記



倉治の祭神・機織神社は昔機織の技術を伝えた漢人・庄員を祭神としていると言われている
 最高気温は本年最高、頭に首にタオルを掛け、黙々と歩みを進める、キリギリスの鳴き声が夏本番を告げている



参詣道には数多くの露天が準備されている。七夕当日はどんなに賑やかだろうか？

七夕を明日に控えて神社では布を織る機が2台飾られていた



飾付けが終わった七夕飾りを取り囲んでしゃいでいる園児たち

昼食前の力をふりしぼって倉治公園に到着、思い思いに木陰を求めて円陣を作り昼食となる



屋食休憩の倉治公園 よく整備されている

倉治公園での屋食を終えて炎天下をJR河内磐船へ向かう





棚のよく手入れされた蔓、葉その下で大事に袋を被せられたぶどう、早生のデラウェアだろうか？

道の両側は一面のぶどう畑、棚のよく手入れされた蔓にぶどうが



店を開け始めたばかりと思われる直売所で早速買い求める人も多く人気のスポット

ぶどうの直売所に人盛りができる



炎天下でも涼を呼ぶ韓国「無窮花（ムグンファ）」、真っ白なむくげの花

路端に咲くアガパンサスの群落



須弥寺（しゅみじ）ご本尊は阿弥陀仏で西山浄土宗田通山と言する

JR河内磐船駅で解散





<行程>

京阪郡津駅前松塚公園⇒免除川沿い緑道⇒旧代官屋敷(北田家)⇒住吉神社⇒機物神社⇒倉治公園(昼食)⇒神宮寺ぶどう畑(直売所)⇒須弥寺⇒JR河内磐船駅(解散)⇒京阪河内森駅
 歩行距離：約8km

2004年07月06日(火) 第97回例会 109名参加